

MITSUBISHI

三菱車載用ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー
形名

TU-7D

取扱説明書



この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになったあと、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。



目次

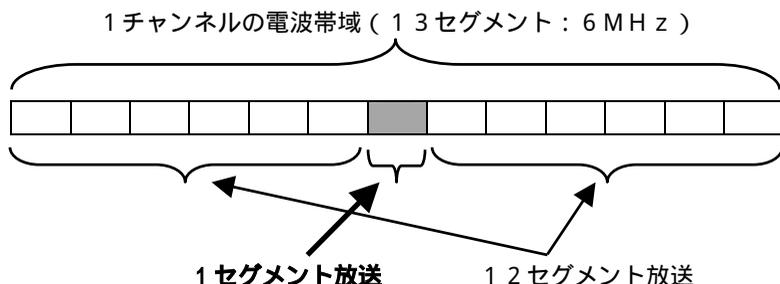
本製品について	3
構成部品一覧	4
使用上のご注意	5
お客さまへ 安全上のご注意	6
快適にお使いいただくために	11
ご使用の前に	12
各部のはたらき	13
ワンセグTVチューナーの取り付け方	16
アンテナの貼り付け方法	19
接続要領	24
チャンネルの設定	26
テレビを見る	28
チャンネルリストを見る	30
番組表を見る	31
番組内容を見る	32
音声を切り替える	33
画面を切り替える	34
字幕を表示する	35
故障かなと思ったら	36
仕様	38
保証とアフターサービス	39

本製品について

本製品は、カーナビゲーションやカーテレビ等の外部映像・音声入力端子の付いた機器に接続して使うワンセグ専用地上デジタルTVチューナーです。本製品を使うことによって地上デジタル放送の携帯機器向けの放送（通称：ワンセグ）をご覧になります。本製品は、データ放送、緊急警報放送の受信には対応しておりません。

ワンセグとは？

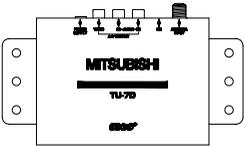
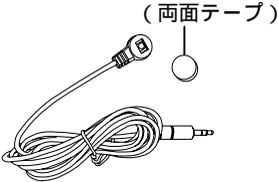
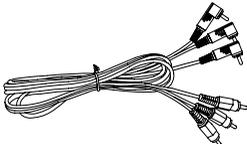
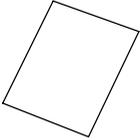
“ワンセグ”とは地上デジタル放送の携帯機器向けの放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを、携帯機器向けに利用していることから“ワンセグ”と呼ばれています。残りの12セグメントでは固定機器向けにハイビジョン放送や、多チャンネル放送を行っております。



- ・地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、2006年12月にすべての都道府県庁所在地を中心に、放送が開始されました。
ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により、順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によっては、ワンセグが放送されない場合があります。
安定した映像と音声、およびデータ放送が特徴です。
- ・ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- ・放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信は、お申し込みが不要な無料のサービスです。

構成部品一覧 (取り付け前にご確認ください)

本製品には次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。()は個数です。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

<p>ワンセグTVチューナー(1)</p> 	<p>リモコン(1) (電池付:単4形2本)</p> 	<p>リモコン受光部コード(1) (両面テープ付) 3m</p>  <p>(両面テープ)</p>	
<p>電源用コード(1) 2.3m</p> 	<p>フィルムアンテナ(1) 215x45mm</p> 	<p>アンテナコード(1) 5m</p> 	
<p>映像・音声コード(1) 3m</p> 	<p>面ファスナー(2) 80mm</p> 	<p>取扱説明書(1) (本書)</p> 	
	<p>クリップ(4)</p> 	<p>保証書(1)</p> 	<p>代理店 リスト(1)</p> 

付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際と異なる場合があります。

使用上のご注意

デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面となり音声が出なくなることがあります。

車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度、アンテナの取り付け位置などにより受信状態が変化します。

本製品の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本体やアンテナコードの途中に接続している機器に近づけると、その影響により映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由してテレビで視聴すると、正常に受像ができない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本製品とテレビを接続してください。

本製品は日本国内専用です。

外国では放送方式、受信チャンネルが異なりますので使用できません。

本製品はワンセグ専用です。

ワンセグ以外の地上デジタル放送、データ放送、緊急警報放送には対応していません。

ワンセグは携帯機器用の放送のため、接続するテレビやモニターの画面の大きさによって多少画面が粗くなります。

本製品には音量調節機能がありません。音量調節は接続したテレビまたはモニター側で調節してください。

お客さまへ 安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

運転者は運転中に、画像を注視しない。

前方不注意となり事故の原因となります。

道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。



禁止

運転者は走行中に複雑な操作をしない。

運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキをかけて使用する。

テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。



必ず行う

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。

事故、火災、感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しない。

故障、火災、感電の原因となります。



分解禁止

本製品は DC12V マイナス - アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。

火災や故障の原因となります。



禁止

機器内部に水や異物を入れない。

発煙、発火、感電、故障の原因となります。



禁止

万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店か弊社代理店に相談する。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



必ず行う

リモコンを放置しない。

停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



禁止

ヒューズを交換する時は、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



必ず行う

雷が鳴りだしたら、アンテナ線やテレビに触れない。

落雷により感電の原因となります。



接触禁止

注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



注意

本製品の通風孔や放熱板をふさがないでください。

通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。



禁止

リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因となることがあります。



必ず行う

取り付け・配線時などのご注意



警告

取り付け作業前には、バッテリーのマイナス・端子を外す。

ショート事故による感電やけがの原因となります。



必ず行う

本製品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。

交通事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本製品の取り付けと配線をしない。

エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。



禁止

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。



禁止

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。

誤った穴開けをすると火災の原因となります。



注意

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。

これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



禁止

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



必ず行う

取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウinkerなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。

正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



必ず行う

必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)

走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。なお、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。



必ず行う

注意

落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。



必ず行う

本製品の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



必ず行う

必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。



必ず行う

取付要領書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となる場合があります。



必ず行う

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグが誤作動する原因となる場合があります。



必ず行う

本製品の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。

取り外し、取り付けには専門技術が必要です。



必ず行う

車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となる場合があります。



注意

コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。

コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となる場合があります。



注意

雨、水の車内への浸入を防ぐため、アンテナコードの車内への引き込みには十分気をつけて行ってください。

車内に浸水すると、火災、感電の原因となる場合があります。



注意

他の機器と接続する場合は各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくお使いください。

乾電池に関するご注意



事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。

万一、お様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。



必ず行う

指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となります。



禁止

電池を機器内に挿入する場合は、極性 + ・ - に注意し、表示通りに入れてください。

電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



必ず行う

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。

電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。



必ず行う

電池を廃棄する場合は、+ ・ - 端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。



必ず行う

快適にお使いいただくために

本体設置について

次のところには取り付けないでください

水のかかるところ、足で踏まれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、カーペットの下などの熱がこもるところ、直射日光の当たるところや、足元のカーペットの上には取り付けないでください。

アンテナ設置について

次のところには貼り付けないでください

前方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には貼り付けないでください。

取り扱いについて

エンジンをかけてご使用ください

エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

衝撃を与えないでください

本体を落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障の原因となります。

リモコンを落としたり、踏みつけたりなど衝撃を与えないでください

無理な力をかけると部品がこわれ、故障の原因となります。

アンテナを取り付ける場合は・・・

前方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には貼り付けないでください。事故やけがの原因となります。

アンテナは取り付ける位置によって受信状態が変わります。

免責事項について

火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は、一切の責任を負いません。

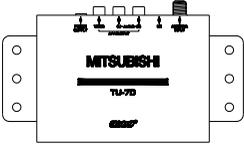
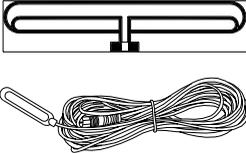
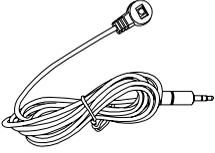
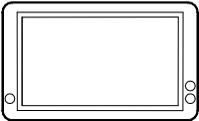
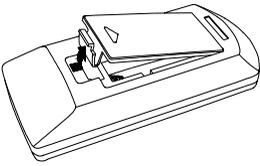
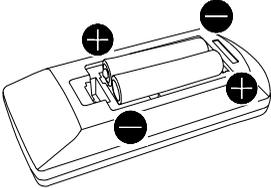
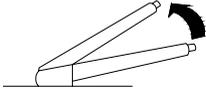
本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

お客様または第三者が、本製品の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラム等が変化・消失した場合の補償はできません。

ご使用の前に (ご使用までの流れ)

お買い上げ後、初めてお使いになるときにご準備ください。

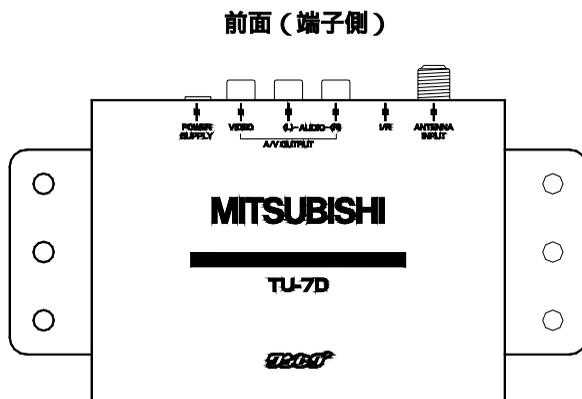
<p>1、本体を車に取り付ける (16 ページ)</p> 	<p>2、アンテナを貼り付け、 コードを取り付ける (19 ページ)</p> 	<p>3、電源コード・リモコン 受光部コードを、接続 する (24、25 ページ)</p> 
<p>4、モニターまたはテレビ と接続する (24、25 ページ)</p> 	<p>5、リモコンに電池を入れる (単4形2本)</p> <p>ふたを開け</p>  <p>電池を - 側から先に入れ ふたをずる</p> 	
<p>6、エンジンをかける パーキングブレーキを 引いてから、エンジン をかけてください</p> 	<p>7、接続したテレビまたは モニターの電源を入れ、 入力切換を本製品に接 続した画面にする</p>	<p>8、チャンネル設定をする (26 ページ)</p>

これで、基本の接続と設定は終了です。

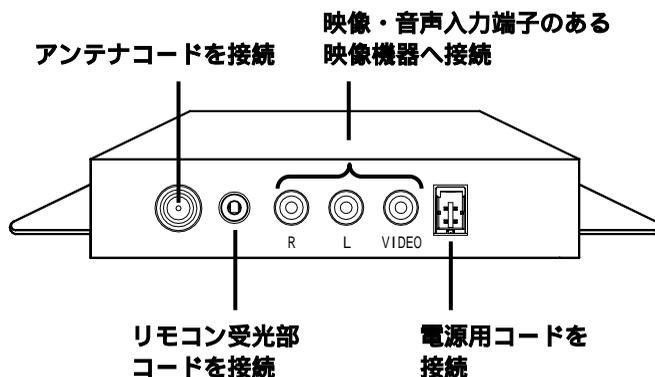
各部のはたらきや、各設定方法をよくお読みになってからご使用ください。

各部のはたらき

本体の上面



本体の前面

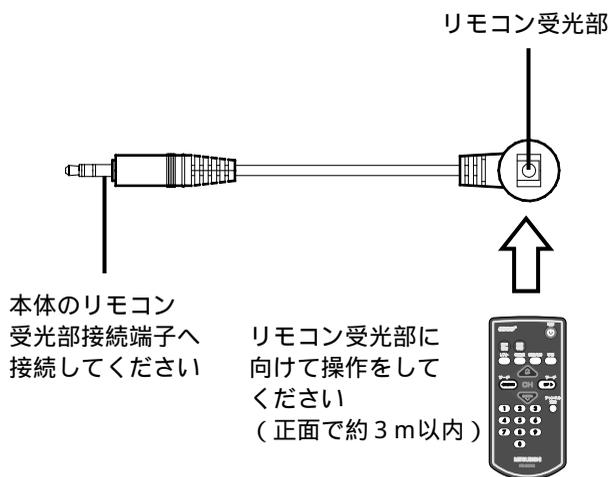


！ ご注意

取り付け・配線の際には、車のキースイッチをOFF状態で、バッテリーのマイナス・端子を外してください。
アンテナ端子からブースター用の電源が出力されます。アンテナコードを接続する際には、電源用コードをはずした状態で行ってください。

各部のはたらき (つづき)

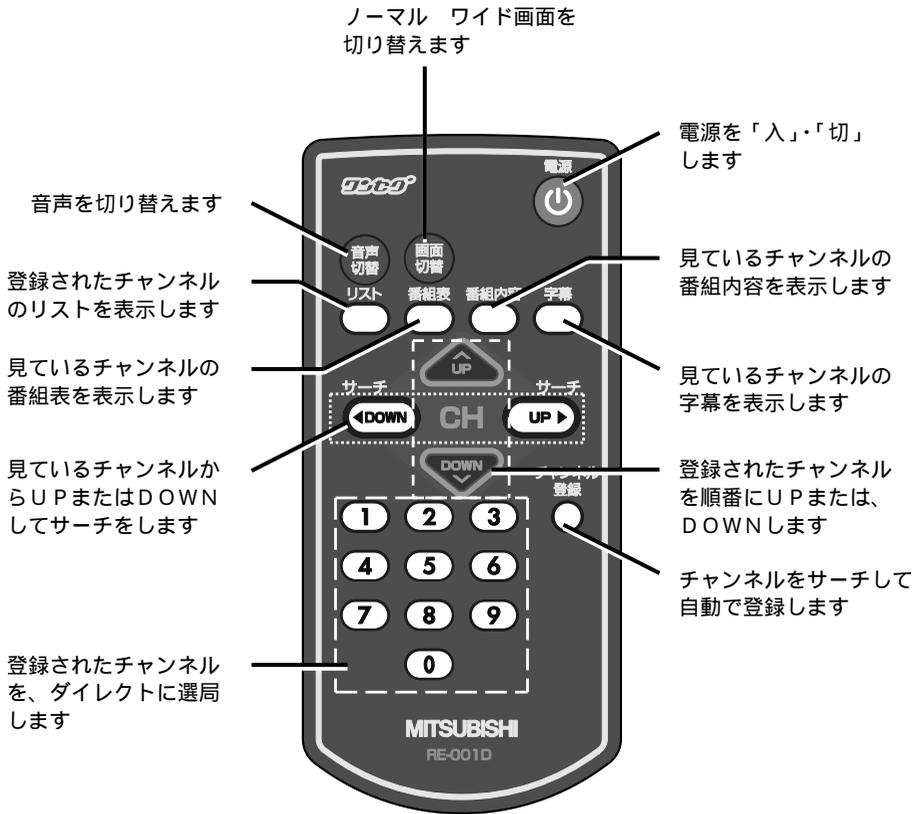
リモコン受光部



●ご注意

リモコン受光部に直射日光や強い照明があたると、リモコンの動作が鈍くなります。リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。リモコンの動作範囲は、リモコン受光部の正面にむけ約3m以内です。リモコン受光部とリモコンの間に物を置かないでください。動作しなくなる場合があります。リモコンはリモコン受光部にまっすぐ向けて操作してください。傾けて操作すると動作しにくくなります。

リモコン



注意

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管してください
 ケースの変形や、内部電池の破損、液漏れの原因となることがあります。

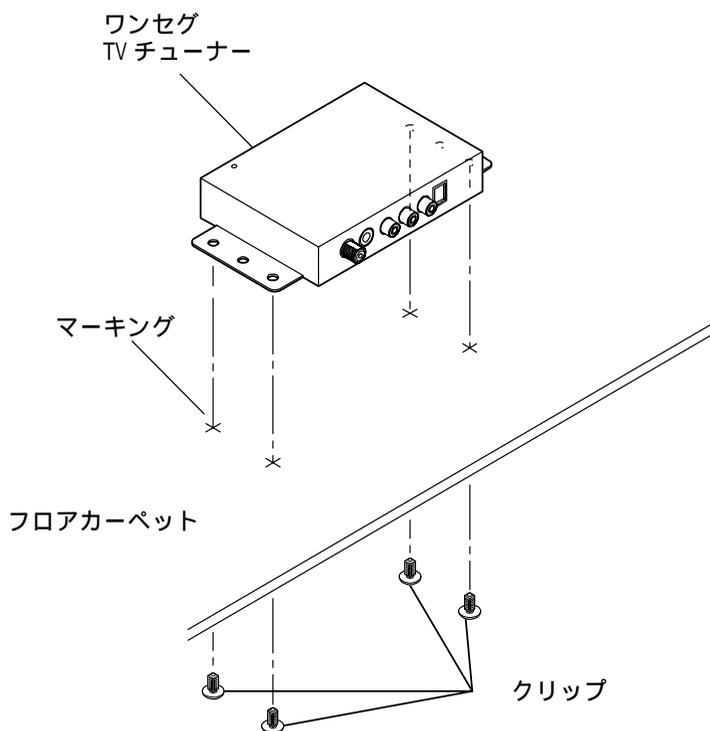
ワンセグ TV チューナーの取り付け方

取付ブラケットを使用して固定する場合

(1) フロアカーペットに、ペンなどでマーキングする

(2) マーキングしたところを、カッターナイフなどで十字に切り込みを入れる

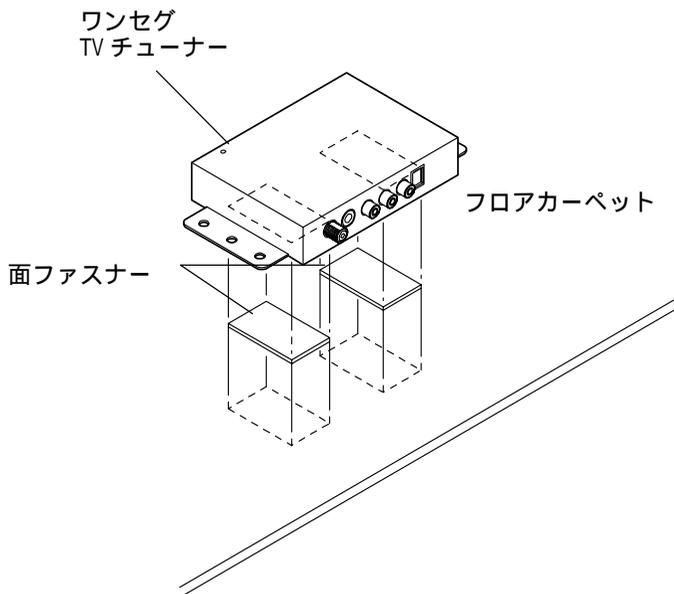
クリップ先端を切り込みより通し、取付ブラケットの穴に通し、ワンセグ TV チューナーを固定します。



ワンセグ TV チューナーの取り付け方(つづき)

面ファスナーを使用して固定する場合

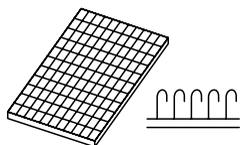
- (1) 面ファスナーのフック側のセパレーターをはがし、ワンセグ TV チューナー底面(両端)に貼り付ける
- (2) 面ファスナーのループ側のセパレーターをはがし車両側に貼り付け、ワンセグ TV チューナーを固定する



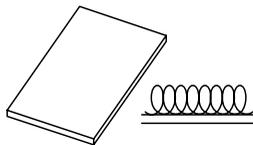
< 面ファスナー(付属) >

フロアカーペットに毛足がある車両では面ファスナーの両面テープが効かないことがあります。その場合は、面ファスナーのフック側のみ使用しフック面をフロアカーペットに貼り付け、本体を固定してください。

フック側



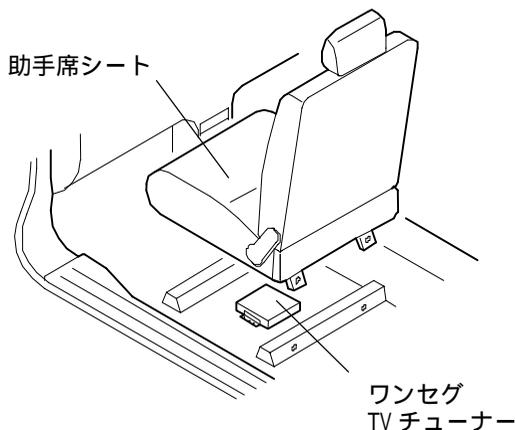
ループ側



ワンセグ TV チューナーの取り付け方(つづき)

助手席シート下への取り付け例

記載されている取り付け例は、一例です。詳細については、お買い上げの販売店または、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス店名簿）へご相談ください。



⚠ 警告

急ブレーキ、急ハンドルなどにより、ワンセグTVチューナーが移動すると危険です。シート下への取り付けは確実に行ってください。できる限りクリップを使用して固定してください。

⚠ 注意

フロアカーペットの毛足が長いタイプの場合、面ファスナーの粘着剤が効かないことがあります。この場合、面ファスナーのフック側のみでフロアカーペットへ固定してください。

アンテナの貼り付け方法

フィルムアンテナは、フロントウインドウ車内側の助手席側に貼り付けてください。フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。

① ご注意

必ずフロントウインドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

アンテナは、前方の視界を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には、貼り付けないでください。事故やけがの原因となります。

アンテナは、はがれないように、しっかりと貼り付けてください。走行中にはがれると、事故やけがの原因となります。

コードの引き回しの際には、シートレールやドアにはさみ込まないように注意してください。断線の原因となります。

電源コードの接続は、アンテナの配線・取り付け作業の最後に行ってください。

ショートによる感電や、けがの原因となります。

アンテナは、付属されているもの以外は使用しないでください。受信状態が悪くなります。

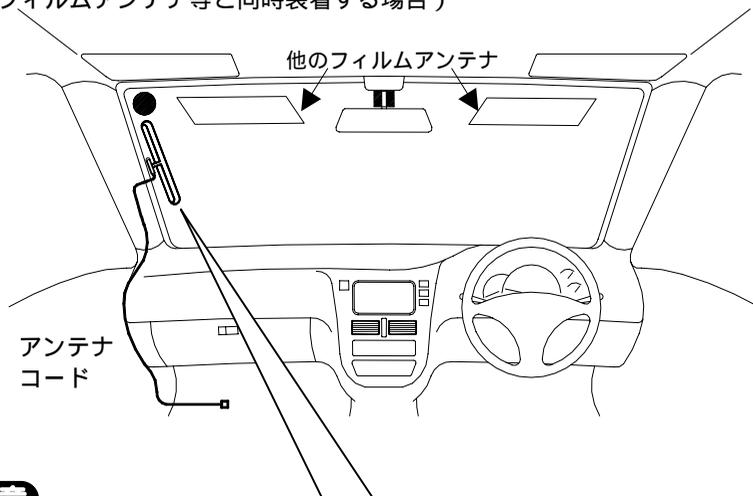
熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなどの、電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。

保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省（当時）告示第820号をいいます。

アンテナの貼り付け方法 (つづき)

取り付け概略完成図 (縦貼り付けの場合) <車内から見た図>

(他のフィルムアンテナ等と同時装着する場合)

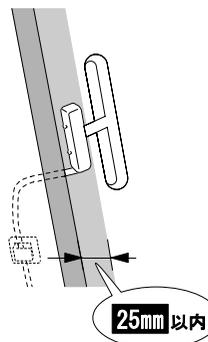


注意

貼付許容範囲 (■部) について

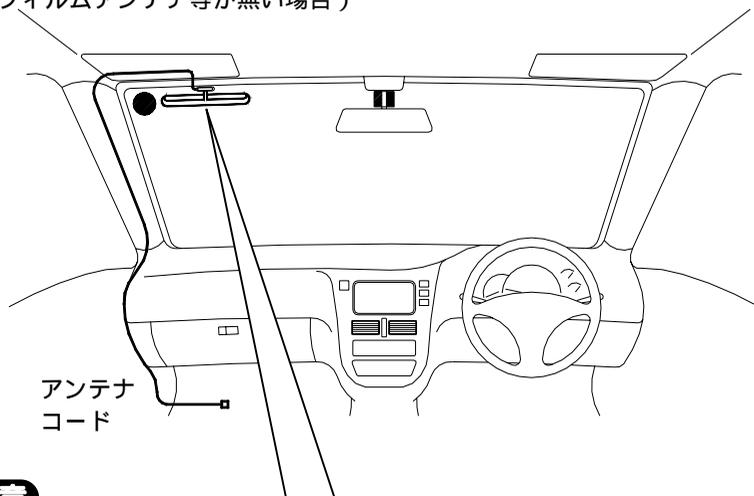
アンブ部は、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

貼付許容範囲外に貼り付けると道路運送車輛の保安基準に適合せず、車検に通らなかつたり、整備不良の対象となります。



アンテナの貼り付け方法 (つづき)

取り付け概略完成図 (横貼り付けの場合) <車内から見た図>
(他のフィルムアンテナ等が無い場合)

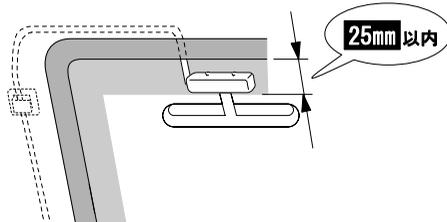


注意

貼付許容範囲 (■部) について

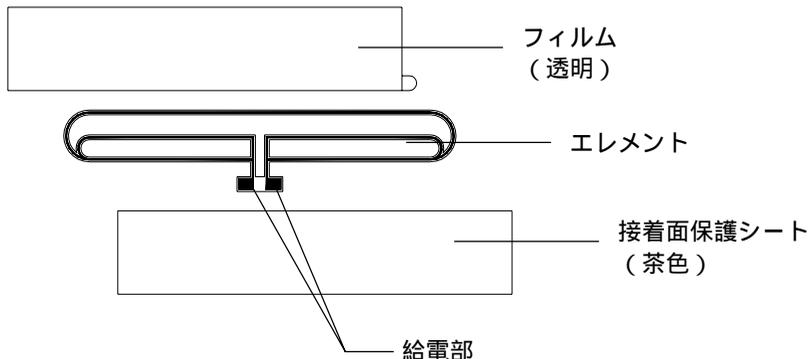
アンブ部は、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

貼付許容範囲外に貼り付けると道路運送車輛の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。



アンテナの貼り付け方法(つづき)

フィルムアンテナの構成



フィルムと接着面保護シートの間、エレメントがはさまれています。エレメントの広い部分が給電部です。一度貼り付けると貼り直しができませんのでコードの引き回し等を十分に検討してから貼り付けてください。

フィルムアンテナの貼り付け手順

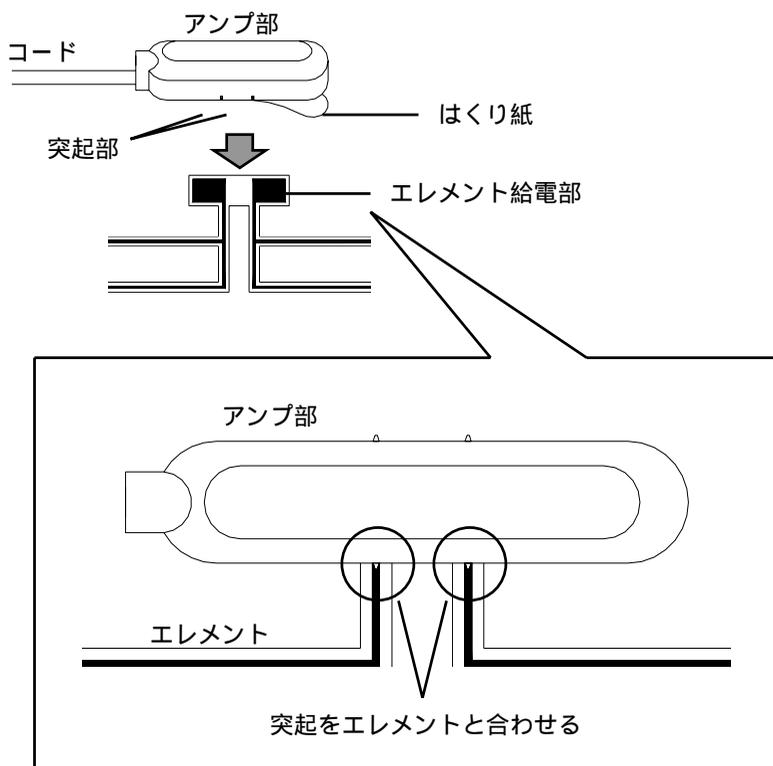
- (1) アンテナ貼り付け面の汚れ(ホコリやゴミなど)をしっかりと落とす**
汚れがあると十分な接着力が得られません。
- (2) フィルムアンテナの接着面保護シート(茶色)をはがす**
フィルムにエレメントが移っていることを確認しながらゆっくりとはがしてください。
- (3) フィルム(エレメント付)の給電部を上にして貼り付ける**
空気が入ったり、しわが寄ったりしないように、端から貼り付けてください。一度エレメントがガラスに貼り付くと、貼り直しはできませんので、十分にご注意ください。
- (4) エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる**
給電部は気泡が入りやすいので念入りに密着させてください。
(フィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。)
- (5) フィルム(透明)のみをはがす**
エレメントがガラスに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。

アンテナの貼り付け方法(つづき)

フィルムアンテナの貼り付け手順(つづき)

(6) アンテナコードのアンブ部をエレメントに取り付ける

アンブ部のはくり紙をはがして、エレメントとアンブ部の突起部を合わせて取り付けてください。



(7) アンテナコードを配線し、本体のアンテナ接続端子へ接続する

アンテナコードを配線し、市販のケーブルクランプや固定用テープなどでしっかりと固定してください。

本体へ接続する際には、手で緩まない程度に締め付けてください。締め付け過ぎると本体内部が破損する場合があります。

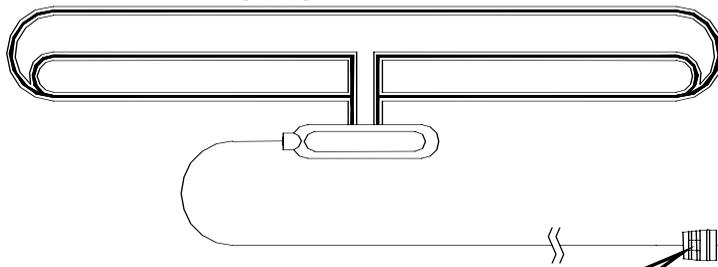
車で移動して受信するため、アンテナの取り付け位置や、車の場所や方向、速度、トンネルやビルなどの状況により受信状態が悪くなる場合があります。

接続要領

！ご注意

取り付けの際には、車のキースイッチをOFF状態でバッテリーのマイナス・端子を外してください。

フィルムアンテナ（付属）



アンテナコード
（付属）5.0m

しっかりと接続
してください

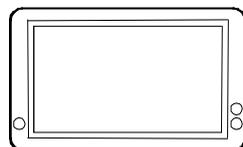
！ご注意

付属のアンテナは、前方の視界を妨げる場所
同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けな
いください。事故やけがの原因となります。

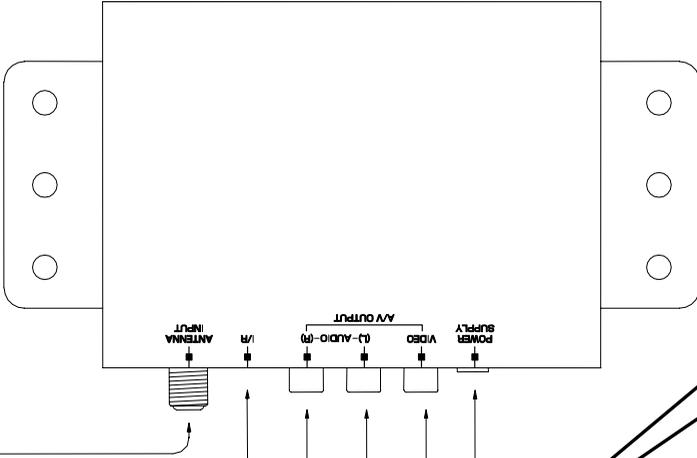
リモコン受光部を
ふさがないように
設置してください

リモコン受光部コード
（付属）3.0m

テレビまたはモニターに接続
（別売）



ワンセグTVチューナー上面



注意
車両のACCをオンにすると自動的に本体の電源が入ります

電源用コードは、カチッと音がするまで、しっかりと差込んでくださ

しっかりと接続してください

ブレーキ信号端子
通常はパーキングブレーキコード（パーキングブレーキを引いたときボディへアースし、パーキングブレーキを戻したとき 12V の電圧が加わるリード線）に接続します。後席モニターのみ接続する場合は GND に接続します。

電源用コード（付属）2.3m

灰色

黒色

アース端子

車両金属部にネジ止めします。

映像・音声コード（付属）3m

外部映像・音声入力端子のあるテレビあるいはモニターに接続してください（黄色：映像 / 赤・白：音声）



ヒューズボックス(1A)

他の機器の接続時に使用します。

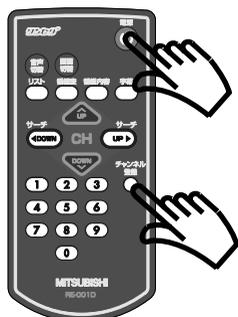
赤色

アクセサリ電源端子

イグニッションキーをACCの位置にすると電源が供給される端子に接続します。

チャンネルの設定

- 1 “電源” ボタンを押して電源を入れ“チャンネル登録” ボタンを押す
チャンネルをサーチしてお住まいの地域で受信可能なチャンネルを、自動
で登録します。受信可能なチャンネルが見つかったら、リモコン番号が表示
されます。



チャンネル登録が完了すると、自動的にリモコン番号の小さい
順番に並び換わります。
チャンネル登録を行う場所によっては、複数の放送局が、同じ
リモコン番号で受信できる場合があります。(県境など)
車両のACCをオンにすると自動的に本体の電源が入ります。

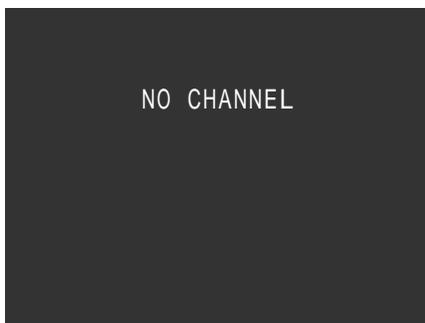
登録が完了した場合

登録されたチャンネル映像が表示され、画面上部には放送局名とリモコン
番号が表示されます。



登録可能なチャンネルが見つからない場合

“ NO CHANNEL ” と表示されます。



移動しながら登録を行うと、受信状態によっては登録できない場合があります。その場合にはいったん車を停止させ、改めてチャンネル登録を行ってください。

チャンネル登録を行うと、すでに登録したチャンネルはすべて消えますのでご注意ください。

引越しなどで受信地域が変わったときや、再設定したいときは改めてチャンネル登録ボタンを押してください。

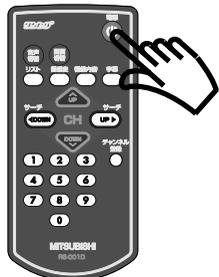
リモコン番号と物理チャンネル

チャンネル登録中に表示される数字は“リモコン番号”と呼ばれ、それぞれの地域の放送局に割り当てられています。それに対し、今まで地上アナログ放送と呼ばれていたチャンネルは“物理チャンネル”と呼ばれ、地上デジタル放送は13～62chまでを使用しております。

本製品では画面右上にリモコン番号を表示します。県境などで複数の放送局が同じリモコン番号で受信できた場合には、リモコン番号のあとに“- 1 ”“- 2 ”と枝番が表示されます。

テレビを見る

1 “電源” ボタンを押す



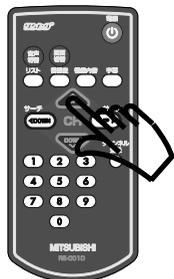
電源が入ります。
ご購入後初めてお使いになる場合は、チャンネルの設定（26ページ）へ戻りチャンネル登録を行ってください。車両のACCをオンにすると自動的に本体の電源が入ります。

2 放送局を選局する

登録済のチャンネルから選局する場合

（“チャンネルUP / DOWN” ボタンで選局する場合）

“チャンネルUP / DOWN” ボタンを押して登録されたチャンネルを切り換えます。



複数のチャンネルが、登録されているときのみボタンが動作します。
1つのチャンネルのみ登録されているときには動作しません。
画面上部には放送局名とリモコン番号が表示されます。

（“10キー” ボタンでダイレクトに選局する場合）

“10キー” ボタンでダイレクトに選局することができます。



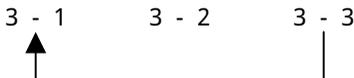
選局は、チャンネル登録されたときのリモコン番号にて行います。

例) リモコン番号 “9” の場合

リモコンボタン “9” または “0”、“9” の順に押します。

画面上部には放送局名とリモコン番号が表示されます。
複数の放送局が同じリモコン番号で登録されている場合は、その番号のキーを押すごとにチャンネルが切り換わります。

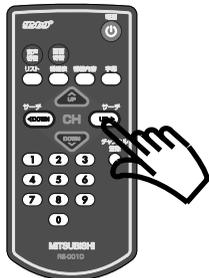
例) リモコン番号 “ 3 ” の放送局が3局登録された場合は、“ 3 ” を押すごとに下記のように切り換わります。



登録されていないチャンネルを選局する場合

(“サーチUP / DOWN” ボタンで選局する場合)

“サーチUP / DOWN” ボタンを押します。



受信可能なチャンネルで止まり、受信映像が表示されます。

画面上部にはリモコン番号が表示されます。放送局名は表示されません。サーチが一巡しても、受信可能なチャンネルが見つからない場合は “ NO CHANNEL ” と表示されます。

注意

ワンセグは携帯機器用の放送のため、接続するテレビやモニターの画面の大きさによって多少画面が粗くなります。

地上デジタル放送の双方向サービスはご利用できません。

地上デジタル放送のデータ放送、緊急警報放送は受信できません。

選局後、映像と音声の出力までに若干時間がかかります。

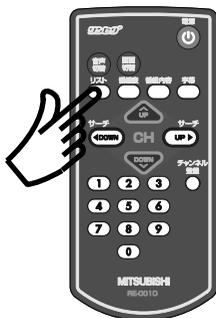
チャンネルメモリー

本製品ではチャンネル登録されたあとに、最後に見ていたチャンネルデータをメモリーしています。一度電源を切ったあとに再び電源を入れると、前回見ていたチャンネルで起動します。サーチUP / DOWNによって受信したチャンネルはメモリーされません。

チャンネルリストを見る

1 “チャンネルリスト” ボタンを押す

チャンネル登録によって登録されたチャンネルのリストが表示されます。
もう一度ボタンを押すと表示が消えます。



チャンネルリスト	
1 c h	NH K 総合
2 c h	NH K 教育
3 c h	NH K 総合
4 c h	放送局名 1
5 c h	放送局名 2
6 c h	放送局名 3
7 c h	放送局名 4
8 c h	放送局名 5

2

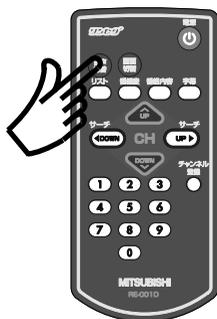
ページを切り替える場合は “チャンネルUP / DOWN” ボタンを押す

チャンネル登録されていない場合は何も表示されません。
チャンネルリストは1ページに最大7局まで表示されます。
サーチUP / DOWN選局したチャンネルは表示されません。
チャンネルリスト上で選局はできません。

音声を切り替える

1 “音声切替” ボタンを押す

“音声切替” ボタンを押すと画面右上に音声の状態が表示され、ボタンを押すごとに音声切り替わります。



ステレオ放送の場合（ステレオ/モノラルの切り替えはありません）

Main1 Sub1 Main/Sub1 Mute

二カ国語放送の場合

Main1 Sub1 Main/Sub1 Mute

マルチ音声放送の場合（音声1、音声2がある場合）

Main1 Sub1 Main/Sub1 Main2
Mute Main/Sub2 Sub2

音声状態は、本体電源をOFFにすると“Main1”に戻ります。
（チャンネル切り換え時は状態を維持します）

画面を切り替える

1

“画面切替” ボタンを押す

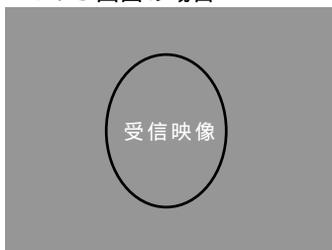
ボタンを押すごとに画面をノーマル ワイドと切り替えます。



画面状態メモリー

本製品では、画面の状態をメモリーしていますので、一度電源を切ったあとに、再び電源を入れると、前回の画面状態で起動します。

4 : 3 画面の場合



ノーマル

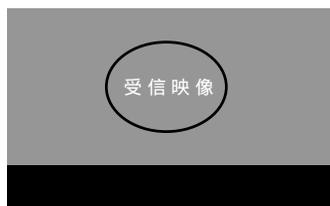


ワイド

16 : 9 画面の場合



ノーマル



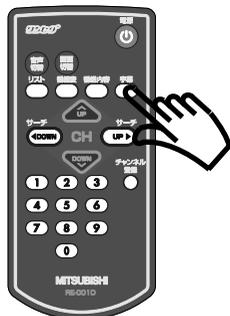
ワイド

字幕を表示する

1

“字幕” ボタンを押す

“字幕” ボタンを押すと画面左上に字幕の状態が表示され、ボタンを押すごとに字幕が切り替わります。



字幕OFF 字幕1 字幕2

A diagram showing three labels: '字幕OFF', '字幕1', and '字幕2'. An arrow points from '字幕OFF' to '字幕1', and another arrow points from '字幕1' to '字幕2'. A third arrow points from '字幕2' back to '字幕OFF', forming a cycle.

ノーマル画面



ワイド画面



ノーマル画面の時には、字幕の背景は半透過になります。
チャンネルリスト・番組表・番組内容を表示している際にも、字幕を表示することができます。その際には同時に画面表示されます。
データの取得から表示までに時間がかかる場合があります。
字幕放送がされていない番組を受信している場合には表示されません。

故障かなと思ったら

故障かな？とお思いのときは、修理をご依頼される前に次の点をお調べください。
それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	原因と処置	ページ
電源が入らない (映像も音声も 出ない)	電源ケーブルはきちんと接続されていますか？ 接続を確認してください。 エンジンはかけていますか？(ACCオン) エンジンをかけてください。(ACCオン)	24・25 ページ -
リモコンが 操作できない	リモコンの電池が消耗していたり電池の極性が 違っていませんか？ リモコンを受光部に向けて操作していますか？ リモコンと受光部の間に障害物があったり距離 がはなれすぎていませんか？ 受信異常により、本製品の操作ができなくなる 場合があります。 一旦エンジンを切り(ACCオフ) 再度 エンジンをかけてください。(ACCオン)	12ページ 14ページ 14ページ -
電源を入れても 映像がすぐに 出ない	本製品は、電源を入れてもソフトウェアが起動 して映像を表示するまでに、時間がかかる場合 があります。	-
映像が出ない (音声は出る)	ブレーキ信号端子に信号を接続している場合、 パーキングブレーキをかけないと、映像出力端 子から信号が出力されません。	24・25 ページ

症状	原因と処置	ページ
映像も音声も 出ない (青い画面の まま)	アンテナがきちんと接続されていますか？ 接続を確認してください。 受信エリアにいますか？ 受信できない状態になっていませんか？ 車の場所や方向、速度により、受信状態が 変化します。一旦車を止めて受信できるか 確認してください。	24・25 ページ - -
地上デジタル 放送が 受信できない	車のある場所は、地上デジタル放送のエリア内 ですか？ ワンセグ放送以外の地上デジタル放送は、受信 できません。 データ放送、緊急警報放送は受信できません。	- - -

本製品はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。その場合は、リモコンで本体の電源を一旦切り、再度入れなおすか、一旦エンジンを切り（ACCオフ）再度エンジンをかけなおしてください。（ACCオン）

仕様

本体

品名	ワンセグ専用地上デジタルTVチューナー
使用電源	DC12V
消費電力	1.5W(動作時)
使用温度範囲	-5 ~ +50
保存温度範囲	-15 ~ +60
受信方式	地上デジタル放送 1セグメント受信
受信チャンネル	13ch ~ 62ch(UHF)
接続端子	アンテナ入力端子 : F型コネクター(アンテナ電源付) 入力レベル : -90dBm ~ 0dBm 出力端子 : RCAジャック 出力レベル : 映像(1.0Vp-p) : 音声(110mVrms) 電源端子 : 専用4ピンコネクター リモコン端子 : 3.5 4極ジャック
外形寸法	123(W) × 89(D) × 23(H)mm (突起部を除く)
質量	315g(本体のみ)

リモコン

送信方式	赤外線方式
電源	DC3V(単4形、2本使用)
外形寸法	52(W) × 110(D) × 17.5(H)mm (突起部を除く)
質量	67g(電池含む)

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが
ご了承ください

保証とアフターサービス

保証書について

この製品には保証書が添付されています。

所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は



保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理



修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

当社はカーステレオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。

保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買上げ店もしくは添付サービス店名簿に記載されている最寄りのお店にお申しつけください。

この説明書は再生紙を使用しています。



三菱電機株式会社

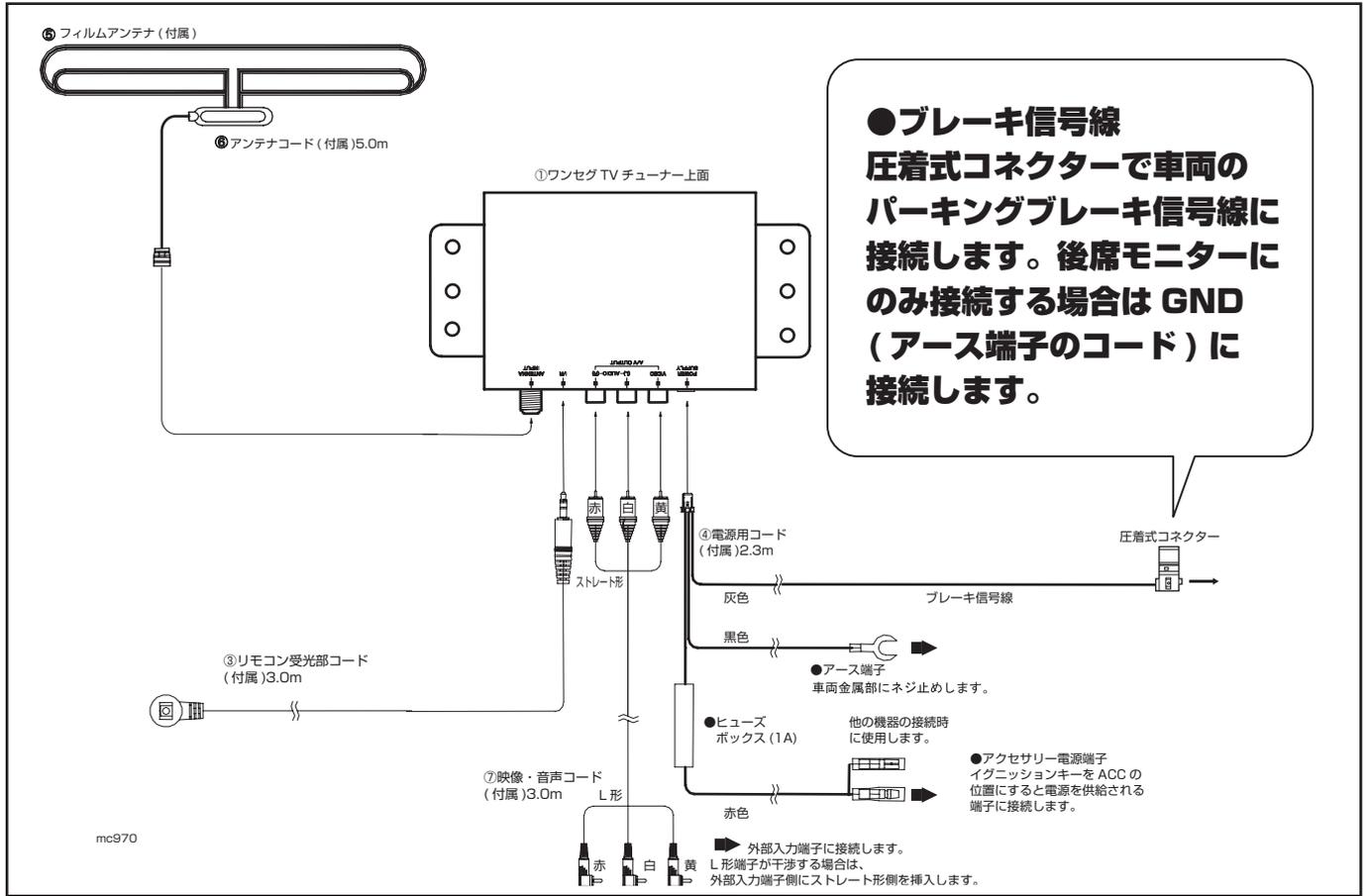
〒100-8310 東京都千代田丸の内2-7-3(東京ビル)

07.06 I.B N871L67729

接続要領 追補版

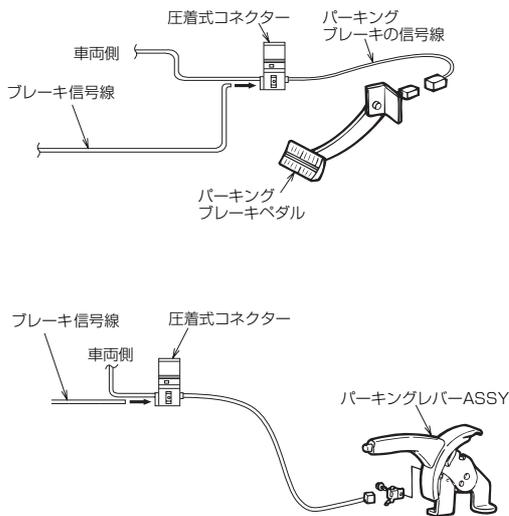
ブレーキ信号線の接続について

・ブレーキ信号線の接続については本追補版を参照してください。



パーキングブレーキ信号の取り出しかた

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。



圧着式コネクタの使いかた

1~4の手順で取り付けを行ってください。

- 1 車両側信号コードから信号を取り出す位置を決め圧着式コネクタ内に通す。
- 2 カバー③を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込む。本体ユニット側コードの先端を圧着式コネクタに差し込みます。(側面に当たるまでコードを差し込んでください)
- 3 上面の金具をプライヤーなどでさみ込み車両側信号コードと本体ユニット側コードを固定する。(コードが外れないように確実に固定してください)
- 4 カバー④を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込む。

